



令和5年度文化芸術振興費補助金 地域文化財総合活用推進事業

# 北海の古代世界と

札幌会場◆2023年12月23日(土)  
北海道大学学術交流会館講堂  
網走会場◆2024年1月13日(土)  
網走市オホーツク・文化交流センター

管理司チヤシコツ岬上遺跡空撮  
管理司立知床博物館所蔵写真

2023年度 地域の文化財普及啓発フォーラム

# 北海道の古代集落遺跡Ⅳ

- ◆札幌会場・網走会場とも10時開会・16時閉会
  - ◆定員：札幌会場200名、網走会場100名
  - ◆参加無料(事前申込み要)
- 内容・参加申込み方法は裏面をご覧ください。

北見市トコロチャシ跡遺跡8号壁跡全景  
(東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究普及実習施設所蔵写真)

# オホーツク文化

主催◆北海道文化遺産活用活性化実行委員会  
後援◆北海道古代集落遺跡群保存活用協議会・網走市教育委員会  
主催者の概要・事業内容等は右のQRコードからフォーラム特設サイトをご覧ください。



# 北海道の

本州以南で古代国家が次第にその形を整える頃、サハリン南部から道北にまたがる地域に現れた人々が海に沿って急速にその居住地を広げ、「オホーツク文化」の遺跡群を残しました。アムール川流域などの古文化とも深いつながりを示すこの異色の遺跡群は、しかし10世紀頃までにはその固有の特色を失い、その住民に関する文献上の記録も姿を消していきます。今回のフォーラムでは、この文化の研究に取り組む専門家をお招きし、参加者とともに北海道の古代史に固有の陰影を与えるその興亡の意味を考えます。

天野講師

## 札幌会場プログラム

- 講演 **オホーツク文化の対外関係について**  
北海道大学元教授 天野哲也
- 発表1 **オホーツク文化の変容と終末**  
東京大学大学院人文社会系研究科教授 熊木俊朗
- 発表2 **千島列島のオホーツク文化**  
北海道大学大学院文学研究院教授 高瀬克範
- 発表3 **遺骨からみたオホーツク文化の担い手**  
北海道大学大学院医学研究院准教授 久保大輔
- 討論 **オホーツク文化の意味するもの—エキゾチシズムを越えて**

熊木講師

高瀬講師

久保講師

# フォーラムNテーマ:北海の古代世界とオホーツク文化

牙製婦人像 網走市最寄貝塚出土 (道立北方民族博物館所蔵、佐藤雅彦氏撮影)

キツネとアザラシの仔を象った装飾のあるへら状牙製品  
色丹島チリフィン湾遺跡出土  
(写真提供: A. B. スビヴァコフスキイ博士)

## 網走会場プログラム

- 講演 **史跡最寄【モヨロ】貝塚の整備と活用**  
網走市立郷土博物館首席学芸員 米村 衛
- 発表1 **オホーツク文化の変容と終末**  
東京大学大学院人文社会系研究科教授 熊木俊朗
- 発表2 **オホーツク文化の変遷について**  
~北海道斜里町内の発掘事例より  
NPO法人オホーツク自然・文化ネットワーク理事 松田 功
- 発表3 **オホーツク文化のイヌとブタ**  
東海大学国際文化学部教授 内山幸子
- 討論 **古代史と道東の文化的アイデンティティ**

米村講師

松田講師

内山講師

# 古代集落遺跡



■フォーラムへの参加は事前の申込みが必要です。左のQRコードからお申込みください。

■ご不明の点はお気軽に実行委員会事務局までお問い合わせください。  
〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7ビル9階  
北海道文化財保護協会気付 電話 (011) 271-4220  
Email: bunho@abelia.ocn.ne.jp 担当: 高久 (たかく)